

Lenovo YOGA C930

YOGA C930-13IKB | YOGA C930-13IKB Glass

ユーザーガイド



コンピュータを使用する前に、付属マニュアルの安全上の特記事項と重要なヒントを読んでください。

Lenovo

備考

- 本製品を使用する前に、*Lenovo 安全性及び一般情報ガイド*をまず読んでください。
- 最新の*安全上の注意と保証、セットアップについての手引き、及び規則のお知らせ*を **Lenovo** のサポート Web サイトでご覧いただけます。URL は以下のとおりです。
<http://support.lenovo.com>
- 本ガイドの説明は、お客様が **Windows[®] 10** を使用されていることを前提としています。他の **Windows OS** を使用している場合は、操作が若干異なる場合があります。他の **Windows OS** を使用している場合は、操作によってはお客様に当てはまらない場合があります。
- **Microsoft[®]** は、**Windows Update** で **Windows OS** に定期的に機能を変更しています。その結果、本ガイドの情報内容が古くなっている場合があります。最新の情報については、**Microsoft** の資料を参照してください。
- 本ガイドで説明している機能は、ほとんどのモデルで共通しています。一部の機能はご使用のコンピュータで使用できなかったり、本ガイドで説明していない機能がご使用のコンピュータに含まれる場合があります。
- 本ガイドの図は、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品を参照してください。

初版 (2018 年 6 月)

© Copyright Lenovo 2018.

目次

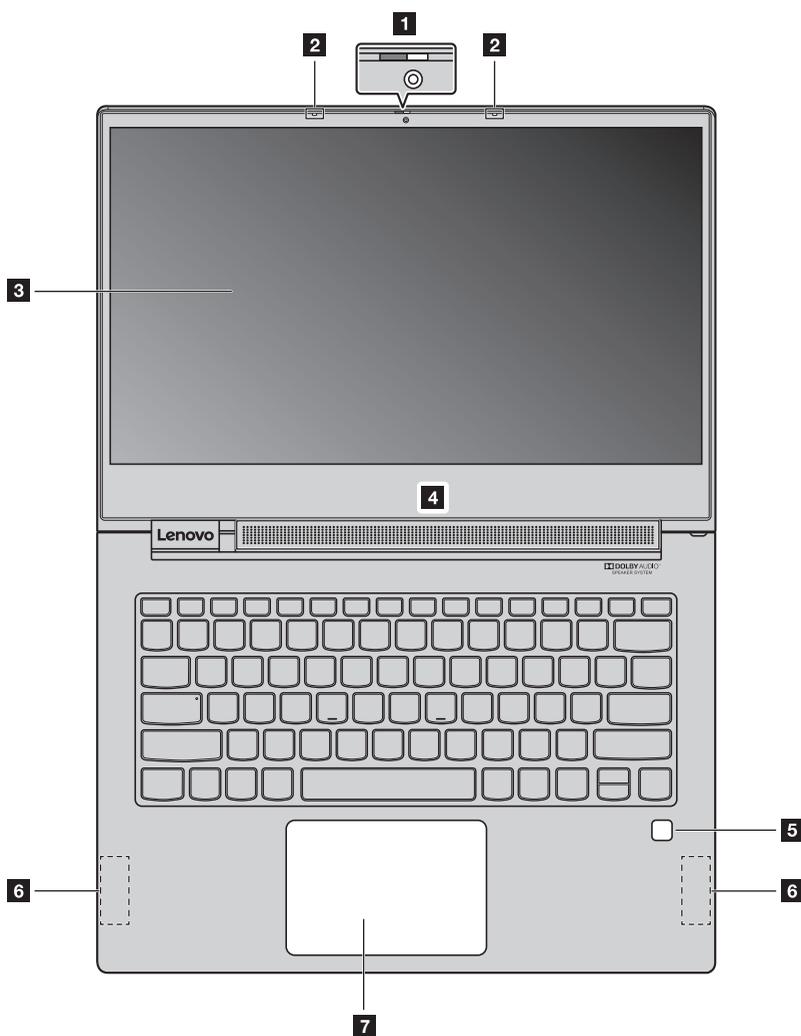
| | |
|---|-----------|
| 第 1 章 コンピュータの各部名称 | 1 |
| 前面図 | 1 |
| 左側面図 | 3 |
| 右側面図 | 4 |
| 背面図 | 4 |
| 底面図 | 5 |
| ステータス・インジケータ | 5 |
| 第 2 章 はじめに | 9 |
| Windows についての情報 | 9 |
| 電源管理 | 13 |
| ワイヤレス接続 | 15 |
| YOGA モード | 15 |
| YOGA ペン | 17 |
| キーボードを使用する | 20 |
| タッチパッドを使用する | 22 |
| マルチタッチ・スクリーンを使用する | 23 |
| その他の便利機能 | 25 |
| 第 3 章 Windows のリカバリーまたはリストア | 29 |
| システムのリストア・ポイントからのリストア | 29 |
| コンピュータの再設定 | 30 |
| リカバリー・ドライブを使用して Windows をリストアまたはリカバー..... | 30 |
| 第 4 章 トラブルシューティング | 33 |
| ディスプレイの問題 | 33 |
| スリープの問題 | 34 |
| バッテリーパックの問題 | 34 |
| サウンドの問題 | 35 |
| 指紋センサーの問題 | 35 |
| その他の問題 | 35 |
| 商標 | 37 |

ページは意図的に空欄にしてあります。

第1章 コンピュータの各部名称

本章は、コンピュータに慣れるための基本的な情報を説明します。

■ □ 前面図



第1章 コンピュータの各部名称

注記： 点線で示されている部品は外からは見えません。

| | |
|-----------------|---------------|
| 1. カメラ | 2. マイクロホン |
| 3. マルチタッチ・スクリーン | 4. スピーカー |
| 5. 指紋センサー | 6. ワイヤレス・アンテナ |
| 7. タッチパッド | |

■ カメラ

カメラはビデオ通信または写真撮影用です。

注記： カメラのカバーをスライドさせることでカバーの開閉ができます。

■ マイクロホン

マイクロホンは、音声、会議の会話、音声ナレーション、またはオーディオ録音をキャプチャします。

■ マルチタッチ・スクリーン

マルチタッチ・スクリーンでは、シンプルなタッチ動作でコンピュータを操作できます。詳細は、23 ページの「マルチタッチ・スクリーンを使用する」を参照してください。

■ スピーカー

コンピュータにはステレオ・スピーカーが搭載されています。

■ 指紋センサー

指紋認証技術は指紋とパスワードを関連づけることによって、シンプルかつ安全なユーザー・アクセスを提供します。詳細は、26 ページの「指紋センサーの使用」を参照してください。

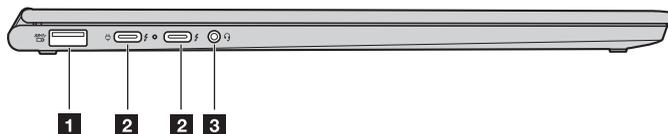
■ ワイヤレス・アンテナ

ワイヤレス・アンテナは、ワイヤレス・アダプターに接続して、ワイヤレスでラジオ信号を送受信します。

■ タッチパッド

タッチパッドは、一般的なマウスとして機能します。詳細は、22 ページの「タッチパッドを使用する」を参照してください。

■ □ 左側面図



| | |
|----------------------|----------------------|
| 1. USB (Type-A) コネクタ | 2. USB (Type-C) コネクタ |
| 3. コンボ・オーディオ・コネクタ | |

■ USB (Type-A) コネクタ

USB キーボード、USB マウス、USB 記憶装置デバイスまたは USB プリンタなどの USB 互換機器を接続します。詳細は、27 ページの「USB デバイスの接続」を参照してください。

注意： USB ケーブルをこのコネクタに接続する場合、USB のマークが上向きになっていることを確認してください。確認を怠ると、コネクタが損傷する場合があります。

■ USB (Type-C) コネクタ

USB (Type-C) コネクタは、USB Type-C™ 標準と Thunderbolt™ 3 技術の両方をサポートします。互換性のある USB-C ケーブルを使用すれば、このコネクタを使用して、データの転送、機器の充電、またはコンピュータに外付けディスプレイを接続できます。両方のコネクタは DisplayPort® 標準とも互換性があります。つまり、高性能モニタ、ダイレクト・ドライブ・モニタ、または DisplayPort コネクタを使用する他の機器に接続できます。

USB (Type-C) コネクタは、電源コネクタとしても機能します。また、コンピュータに同梱されている AC 電源アダプターは USB-C 電源アダプターです。したがって、2 つの USB-C コネクタのいずれかに電源アダプターを差し込んで、ご使用のコンピュータを AC 電源に接続できます。

■ コンボ・オーディオ・コネクタ

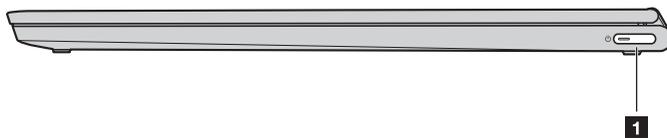
3.5-mm (0.14-inch) のヘッドホンまたはヘッドセット、4 極プラグをオーディオ・コネクタに接続し、コンピュータからの音声を聞きます。

オーディオ・コネクタは、通常のマイクロホンをサポートしていません。

詳細は、25 ページの「オーディオ機能の使用」を参照してください。

第1章 コンピュータの各部名称

■ □ 右側面図

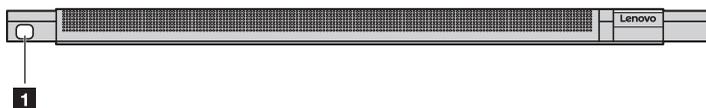


| | |
|----------|--|
| 1. 電源ボタン | |
|----------|--|

■ 電源ボタン

- コンピュータがオフの場合：
 - 電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れます。
 - Fn キーと電源ボタンを同時に押すと、Novo Button Menu (Novo ボタン・メニュー) が開きます。Novo Button Menu (Novo ボタン・メニュー) には、Normal Startup (通常のスタートアップ)、BIOS Setup (BIOS セットアップ)、Boot Menu (ブート・メニュー)、および System Recovery (システム・リカバリー) の4つのオプションがあります。
- Windows が動作している時に電源ボタンを押すと、コンピュータはスリープ・モードに入ります。

■ □ 背面図

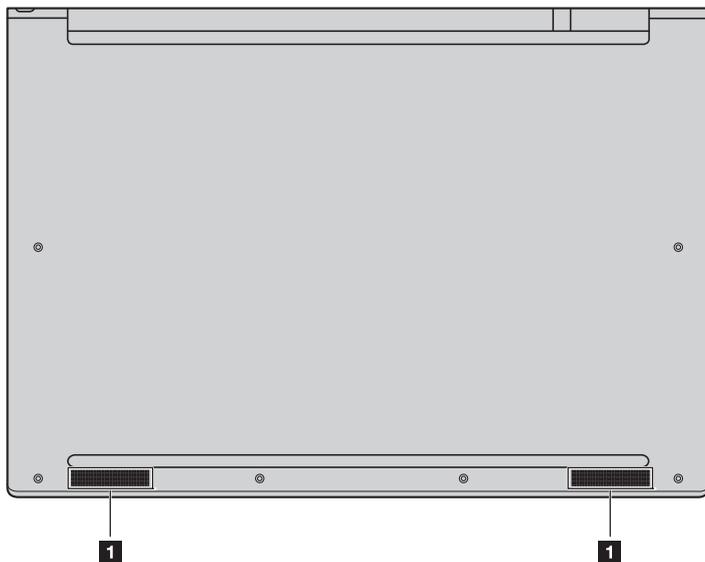


| | |
|------------|--|
| 1. YOGA ペン | |
|------------|--|

■ YOGA ペン

YOGA ペンは、ペン・スロットに格納されています。高レベルの筆圧検知によって、正確にコンテンツを作成できます。詳細は、17 ページの「YOGA ペン」を参照してください。

■□ 底面図



| | |
|----------|--|
| 1. スピーカー | |
|----------|--|

■ スピーカー

ご使用のコンピュータには 1 対のステレオ・スピーカーが搭載されています。

■□ ステータス・インジケータ

このセクションは、コンピュータのさまざまなステータス・インジケータを確認する方法について説明します。

注記： ご使用のコンピュータのモデルによって、図面とは異なる場合があります。

第1章 コンピュータの各部名称



| | |
|---------------------|----------------------|
| 1. カメラ・ステータス・インジケータ | 2. AC 電源ステータス・インジケータ |
| 3. キャプス・ロック・インジケータ | 4. システム・ステータス・インジケータ |

■ カメラ・ステータス・インジケータ

このインジケータがオンの時はカメラは使用中です。

■ AC 電源ステータス・インジケータ

このインジケータは、コンピュータの AC 電源と充電状況を表示します。

- **オン (ソリッド・ホワイト)** : コンピュータは AC 電源に接続されています (バッテリー電源が 91%-100% 充電)。
- **オン (ソリッド・イエロー)** : コンピュータは AC 電源に接続されています (バッテリー電源が 1%-90% 充電)。
- **オフ** : コンピュータは AC 電源に接続されていません。

■ キャプス・ロック・インジケータ

このインジケータがオンの時は、文字キーを直接入力すると大文字を入力できます。

■ システム・ステータス・インジケータ

この電源ボタンのインジケータは、コンピュータのシステム・ステータスを示します。

- **オン (ソリッド・ホワイト)** : コンピュータはオンです (バッテリー電源が 21% - 100% 充電)。
- **すばやく点滅 (ホワイト)** : コンピュータのバッテリーが少なくなっています (バッテリー電源が 1% - 20% 充電)。
- **ゆっくりと点滅 (ホワイト)** : コンピュータはスリープ・モードです。
- **オフ** : コンピュータの電源が切れています。

ページは意図的に空欄にしてあります。

第2章 はじめに

本章は、コンピュータで提供されるさまざまな機能の使用方法を説明します。

■ □ Windows についての情報

■ Windows の Microsoft リソース

Microsoft は Windows について包括的な情報を提供します。

- プリインストールされた**ヒント**アプリは、Windows の新機能とヒントを提供します。Windows デスクトップの検索ボックスで「ヒント」を入力し、検索結果を選択すると、**ヒント**アプリを起動できます。
- プリインストールされた**ヘルプ**アプリは、Windows を使用するためのサポートと支援を提供します。Windows デスクトップの検索ボックスで「ヘルプ」を入力し、検索結果を選択すると、**ヘルプ**アプリを起動できます。**ヘルプ**アプリを使用するには、インターネットに接続する必要があります。
- Microsoft は、Windows に関する役立つ包括的な情報を Web サイト <https://support.microsoft.com/> で提供しています。

■ Windows ユーザー・アカウント

Windows OS を使用するには、少なくともひとつのユーザー・アカウントを作成する必要があります。Windows を初めて起動した時にユーザー・アカウントを作成するように求められます。アカウントを保護するためのパスワードも設定します。

注記： 最初に作成したアカウントは「管理者」タイプになります。このアカウントで、追加のユーザー・アカウントを作成できます。

Microsoft アカウントの作成

Microsoft のオンライン・アカウントを所有していない場合、コンピュータの設定中または後でアカウントを作成できます。

コンピュータを設定中に Microsoft アカウントを作成するには、ログインページで「**サインアップ**」を選択します。

コンピュータの設定後に Microsoft アカウントを作成するには、Microsoft のサインアップページである [Microsoft.com/account](https://microsoft.com/account) に移動します。

いずれの場合も、Microsoft 社の Microsoft アカウントのサインアップページに移動します。このページで、電子メールアドレス、ユーザー名を入力してパスワードを設定します。また、いくつかの個人情報を入力する必要があります。アカウントを作成する前に、Microsoft アカウント・チームからのメッセージを受信ボックスで確認してください。メッセージの指示に従って、アカウントのセットアップを完了します。

電子メールアドレスを持っていない場合、「**新しい電子メールアドレスを取得**」をクリックしてください。これを行うことで、Microsoft アカウントおよび Microsoft がホストする電子メールアドレスを同時に受け取ります。

第2章 はじめに

Microsoft アカウントを使用する利点

Microsoft アカウントを使用する主な利点は2つあります。

- サインインが1回で済みます。Microsoft アカウントを使用して Windows 10 にサインインした場合、OneDrive、Skype、Outlook.com などの Microsoft サービスを使用するためにもう一度サインインする必要がありません。
- デバイスを同期できます。Microsoft アカウントを使用して、複数の Windows ベースのデバイスにサインインする場合、パーソナライズされた設定をそれらのデバイス間で同期できます。

追加のユーザー・アカウントを追加

ユーザー・アカウントは「管理者」タイプで、Windows に追加のユーザー・アカウントを追加できます。家族や友人などとコンピュータを共有する必要がある場合は、追加のユーザー・アカウントを追加します。

- ① 「スタート」> 「設定」> 「アカウント」> 「家族とその他のユーザー」を選択します。
- ② 「家族を追加」または「この PC に誰かを追加」を選択します。

注記： デフォルトでは、Microsoft アカウントを追加するように求められます。人物の Microsoft アカウントを知らない場合、アカウントを作成するか、「**Microsoft アカウントなしでユーザーを追加**」を選択します。問題がある場合は、ヘルプリンクを選択して、Microsoft のヘルプ情報を読みます。

ローカル・アカウントの追加

ご使用のコンピュータがインターネットに接続していない場合、コンピュータを使用するユーザーのためにローカル・アカウントを追加できます。

- ① 「スタート」> 「設定」> 「アカウント」をクリックします。
- ② 「家族とその他のユーザー」をクリックし、「この PC に誰かを追加」を選択します。
- ③ アカウントのユーザー名とパスワードを作成します。
- ④ 「完了」をクリックしてアカウントの追加を完了します。

Microsoft アカウントの追加

ご使用のコンピュータに Microsoft アカウントを追加するには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。コンピュータを使用したい人が Microsoft アカウントを持っている場合、その人の Microsoft アカウントをコンピュータに追加します。

- ① 「スタート」> 「設定」> 「アカウント」をクリックします。
- ② 「家族とその他のユーザー」をクリックし、「この PC に誰かを追加」を選択します。
ご使用のコンピュータがインターネットに接続されている場合、コンピュータに追加したい Microsoft アカウントのユーザー名（電子メールアドレス）の入力を求められます。
- ③ 電子メール・アドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

電子メール・アドレスが検証のために Microsoft に送信されます。数分間かかる場合があります。

- ④ 「完了」をクリックして Microsoft アカウントの追加を完了します。

その人はコンピュータに自分の Microsoft アカウントでサインインすることができます。

注記： 入力した電子メール・アドレスが既存の Microsoft アカウントではない場合、その電子メール・アドレスを使用して Microsoft アカウントを作成するようにプロンプトが表示されます。

アカウントの種類の変更

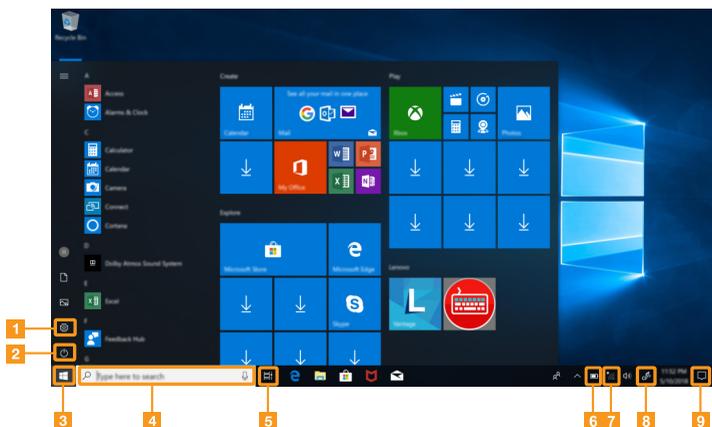
デフォルトでは、コンピュータの設定後に追加されたユーザー・アカウントは標準ユーザー・アカウントになります。ユーザーが管理者である場合、標準ユーザー・アカウントを管理者アカウントに変更できます。

- ① 「スタート」> 「設定」> 「アカウント」をクリックします。
- ② 「家族とその他のユーザー」をクリックします。
- ③ 「他の人」の下で、変更したいアカウントのユーザー名をクリックし、さらに「アカウントの種類を変更」をクリックします。
- ④ ドロップダウン・メニューでアカウントの種類を変更します。

重要事項： 管理者権限を付与する場合は十分に注意してください。管理者アカウントでは重要なシステム・ファイルを削除したり、コンピュータのすべてのユーザーに影響のある変更を行うことができます。

第2章 はじめに

■ オペレーティングシステムのインターフェース



| | |
|--|--|
| 1. 設定ボタン  | 2. 電源ボタン  |
| 3. 開始ボタン  | 4. 検索ボックス |
| 5. タスク表示ボタン  | 6. バッテリー・ステータス・アイコン |
| 7. ワイヤレス・ステータス・アイコン *  | 8. Windows Ink ワークスペース  |
| 9. アクション・センター  | |

設定ボタン

設定によって基本的なタスクを実行できます。設定検索ボックスを使用して、より詳細な設定を検索することもできます。

バッテリー・ステータス・アイコン

ポインタをこのアイコンに移動して、バッテリーの状態をチェックできます。バッテリー・ステータス・アイコンは、バッテリー残量のパーセンテージとバッテリーの充電が必要になるまでの時間を表示します。

ワイヤレス・ステータス・アイコン

このアイコンは、コンピュータのワイヤレス接続のステータスを表示します。

- *  ご使用のコンピュータはワイヤレス・ネットワークに接続されていません。

-  ご使用のコンピュータはワイヤレス・ネットワークに接続されています。
-  機内モードがオンです。

Windows Ink ワークスペース

Windows Ink ワークスペースは、YOGA ペンの使用をサポートするために設計されたアプリケーションのためのスペースです。Sketchpad、Sticky notes、Screen sketch やその他のペン対応アプリを起動できます。

詳細は、17 ページの「YOGA ペン」を参照してください。

アクション・センター

Windows およびご使用のアプリから重要な通知を検索できます。共通設定を素早く変更することもできます。

■ □ 電源管理

このセクションは、AC 電源を使用してパフォーマンスと電源管理のバランスを最適にする方法について説明します。

■ AC 電源アダプターの使用

コンピュータを実行する電源は、バッテリーまたは AC 電源から供給できます。AC 電源を使用中は、バッテリーは自動的に充電されます。

USB (Type-C) AC 電源アダプターと電源コードがコンピュータに同梱されています。

- AC 電源アダプター：ノート PC 用に AC 電源を変換します。
- 電源コード：AC 電源アダプターをコンセントに接続します。

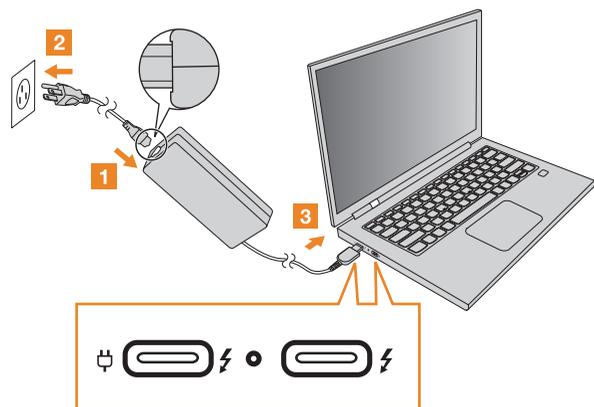
AC 電源アダプターの接続

コンピュータを AC 電源に接続する場合、以下の手順を確認してください。

注意： 不適切な電源コードを使用すると、コンピュータに重大な損傷を与えることがあります。

- ① 電源コードを AC 電源アダプターに接続します。
- ② 電源コードをコンセントに接続します。
- ③ AC 電源アダプターをコンピュータの USB (Type-C) コネクタに接続します。

第2章 はじめに



注記:

- 使用していないときは、AC 電源アダプターを電源コンセントから外してください。
- 電源コードが AC 電源アダプター本体に接続されている場合、コードを AC 電源アダプター本体に強く巻き付けしないでください。

■ 省電力モード

コンピュータの使用を終えたら、スリープ・モードにするか、シャットダウンすることができます。

コンピュータをスリープ・モードにする

コンピュータがスリープ・モードであれば、起動プロセスを省略してコンピュータを素早く再起動できます。

コンピュータをスリープ・モードにするには、次のいずれかの手順を実行します。

- ディスプレイ・カバーを閉じます。
- 電源ボタンを押します。
- 「スタート」メニューを開き、「電源」>「スリープ」を選択します。

コンピュータのスリープ・モードを解除するには、以下のいずれかを行います。

- キーボードのいずれかのキーを押します。(ノートブック・モードのみ)
- 電源ボタンを押します。

コンピュータをシャットダウンする

長時間コンピュータを使用しない場合はシャットダウンしてください。

コンピュータをシャットダウンするには、以下のいずれかを行います。

- 「スタート」メニューを開き、「電源」>「シャットダウン」を選択します。
- 左下角の「スタート」ボタンを押してホールドするか、「シャットダウンまたはサインアウト」>「シャットダウン」を選択します。

■ □ ワイヤレス接続

ワイヤレス接続は、ケーブルの代わりに無線でデータを転送します。

■ Wi-Fi ネットワークに接続

コンピュータには内蔵の Wi-Fi ネットワークカードが搭載されており、ワイヤレス接続を確立して接続状況の監視に役立ちます。

- ① 通知領域のワイヤレス・アイコンをクリックします。

注記： ワイヤレス・アイコンが表示されない場合、機内モードがオンになっている可能性があります。

- ② 接続したいネットワーク名を選択して、「接続」をクリックします。
- ③ 求められたらセキュリティ・キーを入力して「次へ」をクリックします。

■ 機内モードのオン/オフ

- キーボードで「F7」を押します。
- 「スタート」>「設定」>「ネットワークとインターネット」>「機内モード」をクリックします。機内モードのトグルボタンをスライドしてオン/オフを切り替えます。
- アクション・センターでの場合、[機内モード]ボタンをクリックしてオン/オフを切り替えます。

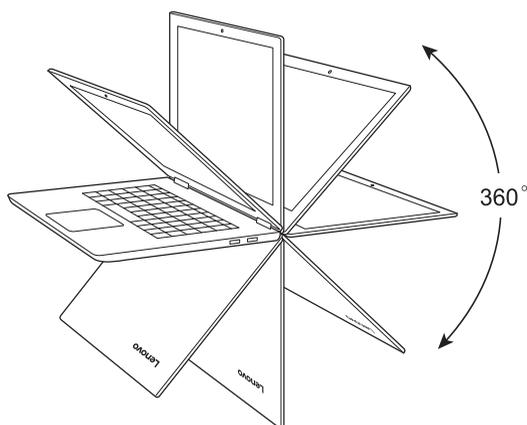
■ □ YOGA モード

ディスプレイ・パネルは、最大 360 度でどのようなアングルにも開くことができます。ディスプレイを異なる角度に回転すると、ディスプレイ内容の回転は自動的に変更されます。自動回転を防止するには、アクション・センタの「回転ロック」をオンにします。

注意：

- 無理にディスプレイを開かないください。パネルやヒンジが損傷する場合があります。
- ディスプレイ・パネルを閉じる場合、ディスプレイ・パネルとキーボードの間にペンや他の物を置き忘れないようにしてください。ディスプレイ・パネルが損傷する場合があります。

第2章 はじめに

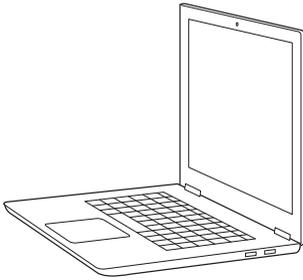


ディスプレイを別の角度に回転することで、ディスプレイを4つのYOGAモードのいずれかに切り替えることができます。

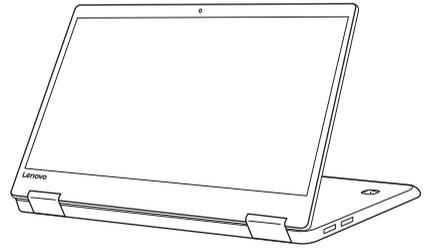
- ノートブック・モードは、キーボードとマウスが必要な作業（文書作成、電子メールの執筆など）に適しています。
- スタンド・モード（シアター・モード）は、画面をタッチする回数が少ない作業（写真の表示やビデオ再生）に適しています。
- テーブル・モードは、頻繁に画面をタッチする必要がある作業（ネットサーフィン、ゲームで遊ぶなど）に適しています。
- テント・モード（プレゼンテーション・モード）は、タッチ画面に限定的な応答が必要な作業（グラフの表示やPowerPointプレゼンテーションなど）に適しています。

注記：

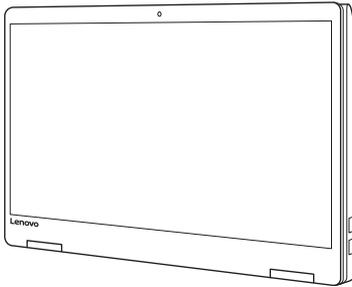
- キーボードとタッチパッドは、スタンド・モード、テント・モードおよびタブレット・モードでは自動的に表示されます。マルチタッチ画面を使用して、代わりにコンピュータを操作できます。
- 自動回転はノートブック・モードでは使用できません。



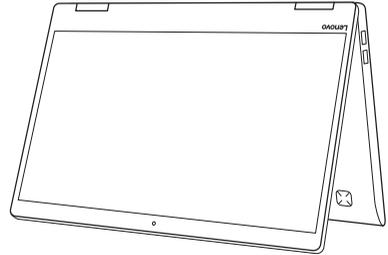
ノートブック・モード



スタンド・モード (シアター・モード)



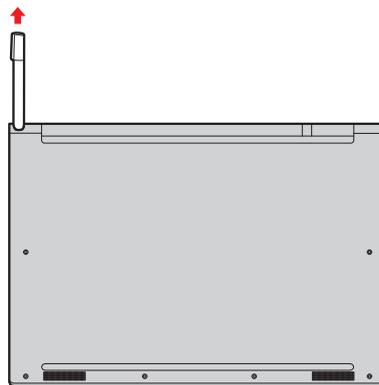
タブレット・モード



テント・モード (プレゼンテーション・モード)

■ YOGA ペン

YOGA ペンをペン・スロットから取り出すには、クリック音が聞こえるまでスロットを深く押し込み、ペンを取り出します。



第2章 はじめに

注記： YOGA ペンは防水ではありません。水に濡らしたり浸したりしないでください。

YOGA ペンは以下の場合で簡単にテキストを入力できます。

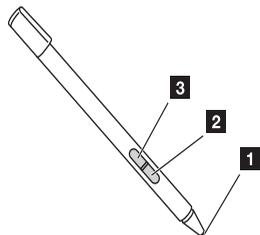
- メモを取る。
- PDF ファイルに注釈を付ける。
- 編集機能やスケッチ機能のあるアプリケーションを使用して図を描く。

■ YOGA ペンの使用

最高品質のラインを引くには、YOGA ペンをコンピュータに対して垂直に保って作図や文書を書きます。

以下の場合、指の代わりに YOGA ペンを使用してください。

- 絵を描いたり、ハンドライティング・モードを使用するなど、正確で詳細な入力が必要である場合。
- 画面に多くの要素が密集している（たとえば、ゲームで遊ぶ場合）。
- 画面をきれいに保ちたい。
- 指の爪が長くて入力が困難。



| | |
|-------------|-------------|
| 1. ペン先 | 2. 消しゴム・ボタン |
| 3. クリック・ボタン | |

YOGA ペンで以下の操作を実行できます。

- クリックまたは選択するには、ペンでディスプレイを一度タップします。
- ダブルクリックは、間を開けずに2回続けてタップします。
- 右クリックするには、ディスプレイをペン先でタップして、1秒間ペンを押したままにします。または、ディスプレイをペン先でタップしながらクリック・ボタンを押したままにします。
- インクを消すには、消しゴム・ボタンを押したまま、ディスプレイをペン先でタップし、消したいインクをペンでドラッグします。

注記： 使用するプログラムによっては、一部の操作は使用できない場合があります。

■ YOGA ペンの充電

ペンを充電するには、スロットにペンがはまるまで挿入します。ペンは約 15 秒で 80% 充電され、約 5 分で 100% 充電されます。

注記： コンピュータがオンまたはスリープ状態であることを確認してください。それ以外の場合は、ペンは充電されません。

■ Windows Ink ワークスペースの使用

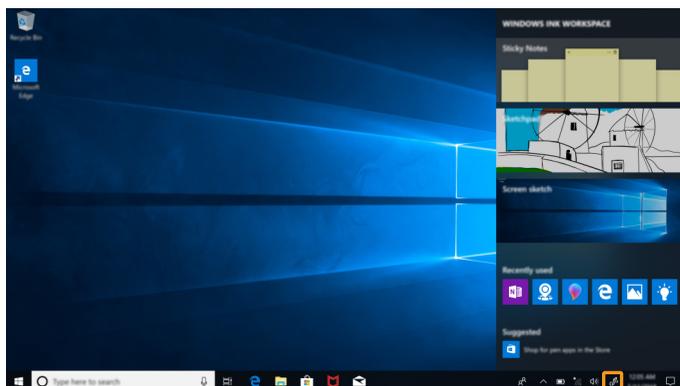
Windows Ink ワークスペースを開くには、タスクバーの右側の **[Windows Ink ワークスペース]** ボタンを選択します。

Windows Ink ワークスペースには、ユーザーが YOGA ペンを使って書いたり描画することができるアプリケーションが含まれています。

- **Sticky Notes:** Sticky Note でメモを取ります。
- **Sketchpad:** Sketchpad で自由に描きます。
- **Screen sketch:** その時点でコンピュータ上で実行しているものに図面を追加したり、以前の Screen sketch を再開します。

以下のショートカットは、YOGA ペンで使用するアプリを検索する時に役立ちます。

- **最近の使用:** YOGA ペンで使用されたアプリを起動します。
- **推奨:** Windows ストアを開きます。ここでは YOGA ペンで使用するアプリを入手できます。



ペンと Windows Ink 設定を構成するには、以下を実行します。

- ① Windows Ink ワークスペースを開き、「ペンと Windows Ink の設定」をクリックします。
- ② 画面の指示に従って希望する設定を構成します。

第2章 はじめに

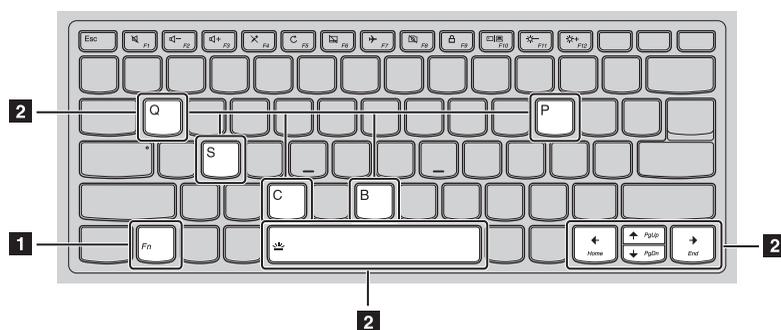
■ □ キーボードを使用する

ご使用のコンピュータにはより簡単かつ効果的に作業するのに便利ないくつかの特殊キーがあります。

■ ファンクションキーの組み合わせ

ファンクションキーを使用して、操作機能を即座に変更できます。

この機能を使用するには、Fn キー **1** を押した状態でファンクションキー **2** を押します。



Fn + B: 中止機能を有効にします。

Fn + P: ポーズ機能を有効にします。

Fn + C: Scroll lock を有効 / 無効にします。

Fn + S: システム要求を有効にします。

Fn + Q: 静音モードを有効 / 無効にします。

Fn + ↑: PgUp キー・ファンクションを起動します。

Fn + ↓: PgDn キー・ファンクションを起動します。

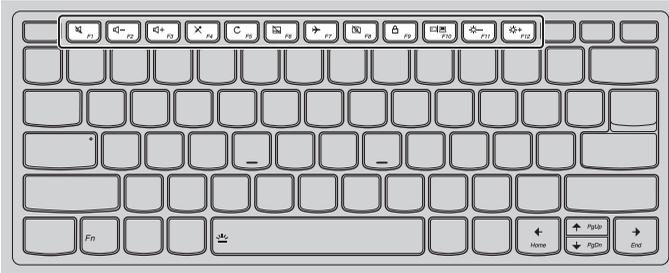
Fn + ←: ホーム・キー・ファンクションを起動します。

Fn + →: エンド・キー・ファンクションを起動します。

Fn + Space: キーボードのバックライトのライティング・レベル (オフ > 半分明るい > 明るい > オフ) を切り替えます。

■ ホットキー

該当するホットキーを押すと、特定のシステム設定にすばやくアクセスできます。



F1: サウンドをミュート / ミュート解除します。

F2: 音量レベルを下げます。

F3: 音量レベルを上げます。

F4: マイクを有効 / 無効にします。

F5: デスクトップまたは現在アクティブであるウィンドウを更新します。

F6: タッチパッドを有効 / 無効にします。

F7: 機内モードを有効 / 無効にします。

F8: カメラを有効 / 無効にします。

F9: 画面をロックします。

F10: コンピュータと外部表示デバイスの間で、表示を切り替えます。

F11: 画面の明るさを下げます。

F12: 画面の明るさを上げます。

ホットキー・モードの設定

デフォルトでは、ホットキー機能は適切なホットキーを押してアクセスできます。ただし、BIOS 設定ユーティリティでホットキー・モードを無効にできます。

ホットキー・モードを無効にするには、

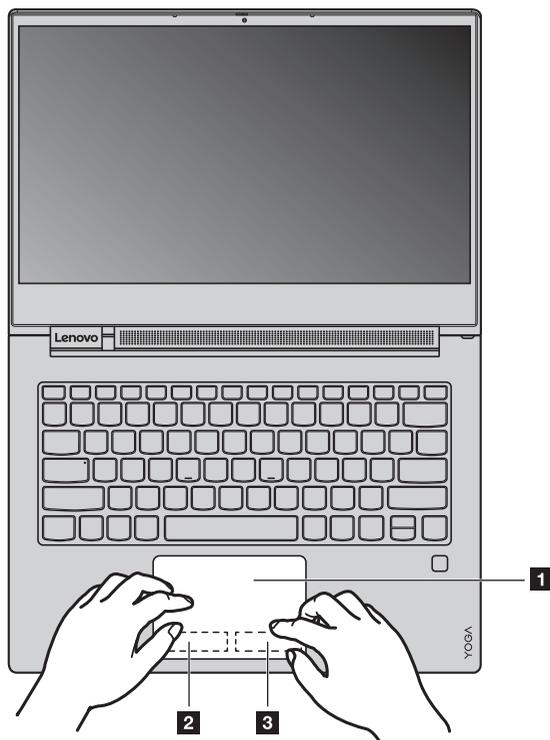
- ① コンピュータをシャットダウンします。
- ② Fn キーと電源ボタンを同時に押して Novo Button Menu (Novo ボタン・メニュー) を開き、**BIOS Setup** (BIOS セットアップ) を選択します。
- ③ BIOS 設定ユーティリティで、**Configuration** (設定) メニューを開き、**HotKey Mode** (ホットキーモード) 設定を **Enabled** (有効) から **Disabled** (無効) に変更します。
- ④ **Exit** (終了) メニューを開き、**Exit Saving Changes** (変更を保存して終了) を選択します。

ホットキー・モードが無効になっている場合、Fn キーと対応するホットキー機能にアクセスするための適切なホットキーを押します。

■□ タッチパッドを使用する

タッチパッド表面全体は、指のタッチや動きに敏感です。タッチパッドを使用して、従来のマウスのポイント、クリック、およびスクロール機能などのすべてを実行できます。

注記： F6を押してタッチパッドを有効/無効にできます。



タッチパッドには以下の領域が含まれます。

| | |
|------------|------------|
| 1. タッチパッド | 2. 左クリック領域 |
| 3. 右クリック領域 | |

■ タッチパッド

タッチパッドの表面を指1本でスライドしてポインタを移動します。

■ 左クリック領域

この領域のクリックは、従来のマウスの左ボタンをクリックした時と同じ効果があります。この領域をクリックしてアイテムを選択または開くことができます。

■ 右クリック領域

この領域のクリックは、従来のマウスの右ボタンをクリックした時と同じ効果があります。この領域をクリックしてショートカット・メニューを表示できます。

■ マルチタッチ・スクリーンを使用する

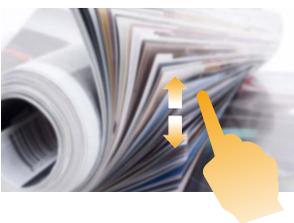
このセクションでは、マルチタッチ・スクリーンの使用方法を説明します。

注記：

- コンピュータ画面は、以下の図とは異なる場合があります。
- 使用するプログラムによって、使用できないジェスチャがあります。

以下の表は、頻繁に使用されるジェスチャを紹介しています。

| よく使用するジェスチャ | 実行されるタスク |
|---|---|
|  | <p>タッチ: アイテムを一度タップします。</p> <p>マウスアクション: 左クリック</p> <p>ファンクション: アプリの起動、リンクを開く、またはコマンドの実行などの動作を実行します。</p> |
|  | <p>タッチ: 押したままにします。指で押して、しばらく押し続けます。</p> <p>マウスアクション: 右クリック</p> <p>ファンクション: 複数のオプションがあるメニューを開きます。</p> |

| よく使用するジェスチャ | 実行されるタスク |
|---|---|
|  | <p>タッチ: 画面をタッチしながらに2本の指を近づけます。</p> <p>マウスアクション: Ctrl キーを押しながらマウスホイールを後ろにスクロールします。</p> <p>ファンクション: ズームアウト</p> |
|  | <p>タッチ: 画面をタッチしながらに2本の指を離します。</p> <p>マウスアクション: Ctrl キーを押しながらマウスホイールを前にスクロールします。</p> <p>ファンクション: ズームイン</p> |
|  | <p>タッチ: アイテムに2本以上の指を置いて、時計回りまたは反時計回りに回転します。</p> <p>マウスアクション: アプリが回転をサポートしている場合、回転アイコンをクリックします。</p> <p>ファンクション: アイテムを回転します。</p> |
|  | <p>タッチ: スライド</p> <p>マウスアクション: マウスホイールをスクロールするか、スクロールバーを移動するか、スクロール矢印をクリックします。</p> <p>ファンクション: リスト、ページ、および写真などのアイテムをスクロールします。</p> |

| よく使用するジェスチャ | 実行されるタスク |
|---|--|
|  | <p>タッチ: 画面の右端からスワイプインします。</p> <p>マウスアクション: Windows 通知領域のアクション・センター・アイコンをクリックします。</p> <p>ファンクション: アクション・センターを開きます。</p> |
|  | <p>タッチ: 画面の左端からスワイプインします。</p> <p>マウスアクション: タスクバーのタスクビューアイコンをクリックします。</p> <p>ファンクション: タスクビューを開きます。</p> |

■ □ その他の便利機能

■ カメラの使用

カメラを起動するには、「スタート」メニューを開いて「**カメラ**」をクリックします。

ビデオ会議、ビデオ・キャプチャ、および写真撮影などの機能を提供する他のプログラムでカメラを使用することもできます。他のプログラムでカメラを使用するには、プログラムを開いてビデオ会議、ビデオ・キャプチャまたは写真撮影機能を開始します。カメラを自動的に起動し、ホワイト・カメラ・ステータス・インジケータがオンになります。

カメラ設定を構成するには、以下を実行します。

- ① 「**カメラ**」アプリを起動して、左上角の設定アイコンをクリックします。
- ② 画面の指示に従って、必要なカメラ設定を構成します。

■ オーディオ機能の使用

ご使用のコンピュータには、以下のオーディオ機能が搭載されています。

- コンボ・オーディオ・コネクタ、直径 3.5 mm (0.14 inch)
- マイクロホン
- スピーカー

第2章 はじめに

以下のリストは、ご使用のコンピュータのコネクターに接続されたオーディオ機器でサポートされる機能についての情報です。

- **3.5-mm (0.14-inch)、4 極プラグのヘッドセット**:ヘッドホンとマイクロホンの機能
- **一般的なヘッドホン**:ヘッドホンの機能

注記: 一般的なマイクロホンはサポートされていません。

■ 指紋センサーの使用

指紋認証は、Windows パスワードなどのユーザーのパスワードの代わりになります。これによって、コンピュータへのログインが簡単かつ安全になります。

指紋認証を有効にするには、最初に指紋登録が必要です。登録中にユーザーの指紋が自動的に Windows パスワードと関連づけられます。

指紋を登録する

指を怪我した場合に備えて、他の指も登録することをお勧めします。

指紋を登録するには、次のようにします。

- ① 「スタート」メニューを開き、「設定」をクリックします。「設定」が表示されない場合、「すべてのアプリ」をクリックしてすべてのプログラムを表示し、「設定」> 「アカウント」> 「サインインオプション」をクリックします。
- ② 画面の指示に従って登録を完了します。

指のスキャン

指をスキャンするには、指紋センサーに指を1～2秒ほど当て、放します。



指紋センサーの保守

以下のことを行くと、指紋センサーに傷が付いたり正常に作動しなくなる可能性があります。

- センサーの表面を、硬い、先のとがったもので引っかく。
- センサー表面を、爪または何か硬いもので引っかく。
- 汚れた指でセンサーを使用したり、触ったりする。

下記のような場合には、センサー表面を乾いた柔らかい糸くずの出ない布でふいてください。

- センサーの表面が汚れていたり、染みがある。
- センサーの表面が濡れている。
- センサーは指紋の登録または認証が繰り返し失敗する。

指が下記のような状態であると、指の登録または認証を行えない場合があります。

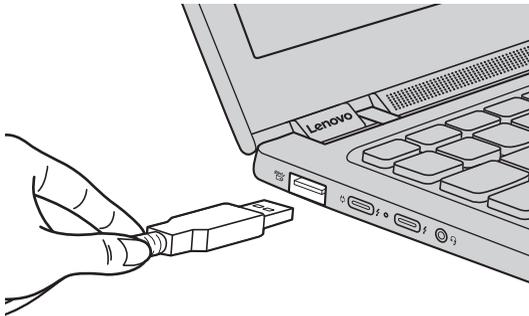
- 指にしわが多い。
- 指がざらざらしている、乾いている、または傷がある。
- 指にごみ、泥、または油が付着している。
- 指の表面が何らかの理由で変化している。
- 指が濡れている。
- 現在使用している指がこれまで登録されていない。

上記の状態を改善するには、以下のことを行ってください。

- 手を洗うか拭き取って、指の汚れや水分を取り除く。
- 別の指を認証用に登録して使用する。

■ USB デバイスの接続

USB プラグ (Type A) をコンピュータの USB コネクタに挿入して、USB デバイスをコンピュータに接続できます。



コンピュータのいずれかの USB ポートに初めて USB デバイスをつなぐと、Windows が自動的にそのデバイスのドライバーをインストールします。ドライバーがインストールされると、追加ステップを実行することなく、デバイスを切断および再接続することができます。

注記： 通常、Windows は新しいデバイスが接続されるとデバイスを検出して、ドライバーを自動的にインストールします。ただし、一部のデバイスでは、接続する前にドライバーをインストールする必要があります。デバイスを接続する前に、デバイスのメーカーの説明書を確認してください。

第2章 はじめに

USB 記憶装置デバイスを取り外す前に、必ずコンピュータがそのデバイスへのデータの転送が完了していることを確認してください。Windows の通知エリアの【**ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す**】アイコンをクリックしてから装置を取り外します。

注記： USB デバイスが電源コードを使用する場合、接続前にデバイスを電源に接続してください。この順番を守らないと、デバイスが認識されないことがあります。

第3章 Windows のリカバリーまたはリストア

本章は、Windows 10 のリカバリー・オプションについて説明します。

以下の状況に遭遇した場合は、Windows のリカバリーまたはリストアが必要です。

- コンピュータが正しく起動しない。
- アプリ、ドライバー、更新のインストール後、コンピュータが正しく動作しない。

Windows 10 には、Windows をリカバリーまたは復元するためのいくつかのオプションがあります。次の表では、ご使用のコンピュータに問題が生じた場合に使用すべきオプションを判別できます。

| 問題 | 使用可能なオプション |
|--|---------------------------------------|
| コンピュータが、アプリケーション、ドライバー、または更新をインストールした後に正常に作動しない。 | システムのリストア・ポイントからリストアします。 |
| コンピュータが正常に動作せず、何が原因であるかが分からない。 | コンピュータをリセットします。 |
| Windows が正しく起動しない。 | リカバリー・ドライブを使用してコンピュータをリカバリーまたはリストアする。 |
| コンピュータをリサイクルまたは寄付したい。 | コンピュータをリセットします。 |

■ □ システムのリストア・ポイントからのリストア

- ① Windows デスクトップの検索ボックスで、「リカバリー」を検索してそれを選択します。
- ② 「システム・リストアを開く」> 「次へ」を選択します。
- ③ リストア・ポイントを選択して、「次へ」> 「完了」を選択します。

注記： 「影響を受けるプログラムをスキャン」を選択すると、特定の復元ポイントに関連付けられているプログラムとドライバーのインストールを確認できます。

■ Windows システムのリストア

システム・リストアは Windows に搭載されているツールです。Windows システム・ファイルの変更を監視し、システム状態を復元ポイントとして保存します。アプリ、ドライバー、またはアップデートをインストールした後にコンピュータが正常に動作しない場合、以前のリストア・ポイントにシステムを戻すことができます。

注記： システムを以前にリストア・ポイントに戻しても個人データには影響がありません。

システム・リストアは、3つのケースでリストア・ポイントを作成します。

- Windows システム・ファイルに対する変更を検出した時に自動的に作成

第3章 Windowsのリカバリーまたはリストア

- 定期的に作成 (ユーザーが設定した場合)
- ユーザーによって指定された場合

■ システムのリストア・ポイントを手動で作成

Windows システム・リストアを使用していつでもリストア・ポイントを作成できます。

- ① Windows デスクトップの検索ボックスで、「リストア・ポイントの作成」を検索して選択します。
- ② 「システムの保護」タブを選択し、「作成」を選択します。

■ □ コンピュータの再設定

コンピュータが正常に動作せず、その理由が不明である場合、コンピュータをリセットできません。

- ① コンピュータをリセットするには、
 - コンピュータをオフにする時、**Fn + 電源ボタン**を押して Novo メニューを開き、「システム・リカバリー」> 「トラブルシューティング」> 「この PC をリセット」を選択します。
 - Windows で、「設定」> 「アップデートとセキュリティ」> 「リカバリー」に移動し、「この PC をリセット」で「はじめに」を選択します。
- ② オプションを選択します。
 - 個人ファイルを保存しておきたい場合は、「個人ファイルを保持する」を選択します。
 - それ以外の場合は、「すべてを削除」を選択します。

注記： PC を寄付、リサイクル、または売却する予定の場合、このオプションを使用してドライブの完全なクリーニングを選択します。これには1～2時間かかることがありますが、削除したファイルを他のユーザーがリカバリーするのは困難になります。

■ □ リカバリー・ドライブを使用して Windows をリストアまたはリカバリー

Windows が正しく起動しない場合、リカバリー・ドライブ (前もって作成) を使用して Windows をリストアまたはリカバリーできます。

- ① ご使用のコンピュータにリカバリー・ドライブを接続します。コンピュータを再起動し、リカバリー・ドライブから起動するように設定します。
- ② 「オプションの選択」画面で「トラブルシューティング」を選択します。

- ③ リカバリー・オプションを選択します。
 - 「詳細オプション」> 「システムのリストア」を選択し、コンピュータをシステム・リストア・ポイントにリストアします。
 - 「ドライブからリカバリー」を選択します。

注記： リカバリー・ドライブの作成時に「システム・ファイルのリカバリー・ドライブにバックアップする」オプションをオンにしなかった場合、「ドライブからリカバリー」は使用できません。

注意： コンピュータで作成された個人ファイルはすべて、ドライブからリカバリー後に削除されます。

■ リカバリー・ドライブの作成

リカバリー・ドライブを作成するには、USB ドライブ (別売) を使用します。Windows が正しく起動しない場合、コンピュータの問題を解決するためにこれを使用できます。

- ① Windows 10 の検索ボックスで、「リカバリー・ドライブの作成」を検索して、それを選択します。

注記： 検索ボックスは、「スタート」ボタンの横、デスクトップの左下角に置かれています。

- ② 「システム・ファイルのリカバリー・ドライブにバックアップする」が選択されていることを確認し、「次へ」を選択します。
- ③ USB ドライブをコンピュータに接続し、そのドライブを選択して「次へ」> 「作成」を選択します。

注意： USB ドライブに個人ファイルがある場合、リカバリー・ドライブ作成で使用する前にすべての個人ファイルをバックアップしてください。

リカバリー・ドライブが作成されると、「PC からリカバリー・パーティションを削除」オプションが表示されます。コンピュータのドライブ・スペースを増やすには、そのドライブを選択し、「削除」を選択します。それ以外の場合は、「完了」を選択します。

ページは意図的に空欄にしてあります。

第4章 トラブルシューティング

本章は、コンピュータに問題が発生した場合の対処方法について説明します。

■ □ ディスプレイの問題

■ コンピュータの電源をオンにしても画面に何も表示されない。

以下のことを確認してください。

- AC 電源アダプターがコンピュータに接続されており、正常な状態のコンセントに接続されていること。
- コンピュータの電源がオンであること。(確認のため、電源ボタンを再度押してください。)
- 画面の明度レベルが適切に設定されていること。

これらの項目が正しく設定されている場合でも画面が表示されない場合、コンピュータの修理が必要です。

■ コンピュータの電源をオンにすると、何も表示されていない画面に白いカーソルだけが表示される。

- コンピュータの電源をオフにして、電源を入れ直します。
- それでも問題が解決しない場合、バックアップしたファイルを Windows 環境にリストアするか、ハードディスクのすべてのコンテンツを Windows リカバリー・システムを使用して工場出荷状態にリストアします。それでも画面にカーソルしか表示されない場合は、コンピュータの修理を依頼してください。

■ コンピュータの電源がオンであるにもかかわらず、画面がブランクになる。

スクリーンセーバーまたは電源管理が有効になっている可能性があります。以下のいずれかを実行して、スリープ・モードを解除してください。

- キーボードのいずれかのキーを押します。(ノートブック・モードのみ)
- 電源ボタンを押します。

■ 画面がブランクである。

以下のことを実行してください。

- AC 電源アダプターまたはバッテリー・パックを使用していて、バッテリー・ステータス・インジケータがバッテリーの消耗がないことを示している場合、**F12**を押して画面を明るくします。
- システム・ステータス・インジケータが点滅する場合、電源ボタンを押して、スリープ・モードを解除します。
- 問題が解決しない場合は、次の問題「画面が読めない、歪んでいる。」の解決策に従ってください。

■ 画面が読めない、歪んでいる。

以下内容を確認してください。

第4章 トラブルシューティング

- 画面の解像度や色の品質が正しく設定されていること。
- モニタのタイプが正しいこと。

■ 画面に、間違った文字が表示される。

オペレーティング・システムまたはプログラムが正しくインストールされていることを確認してください。インストールと構成が正しい場合は、コンピュータの修理を依頼してください。

■□スリープの問題

■ バッテリ切れエラーというメッセージが表示され、コンピュータが即時にオフになる。

バッテリーの電力が低下しています。AC 電源アダプターをコンピュータに接続してください。

■ コンピュータが、起動時のセルフテスト (POST) 直後にスリープ・モードに入る。

以下のことを確認してください。

- バッテリパックが充電されていること。
- 動作温度が、許容範囲内であること。安全性及び一般情報ガイドの「第2章使用と手入れに関する情報」を参照してください。

注記： バッテリ・パックが充電されていて、温度も範囲内である場合は、コンピュータの修理を依頼してください。

■ コンピュータのスリープ・モードが解除されず、コンピュータが動作しない。

- コンピュータがスリープ・モードである場合、AC 電源アダプターをコンピュータに接続し、電源ボタンを押します。
- それでもスリープ・モードが解除されず、応答がなく、または電源をオフにできない場合、コンピュータをリセットします。保存していないデータは失われることがあります。コンピュータをリセットするには、電源ボタンを8秒以上押し続けます。それでもコンピュータがリセットされない場合、AC 電源アダプターを抜きます。

■□バッテリーパックの問題

■ バッテリ・ステータス・アイコンのステータス表示が正しくない。

バッテリー・ステータス・アイコンが空になる前にコンピュータをシャットダウンするか、またはバッテリー・ステータス・アイコンが空になってからもコンピュータの操作を続けます。

- バッテリを再充電してください。

■□ サウンドの問題

■ 音量を上げてても、スピーカーから音が聞こえない。

以下のことを確認してください。

- ミュート機能がオフであること。
- コンボ・オーディオ・コネクタが使用されていないこと。
- スピーカーが再生機器として選択されていること。

■□ 指紋センサーの問題

■ センサーの表面が汚れているか濡れている。

センサー表面を乾いた柔らかい糸くずの出ない布でていねいにふいてください。

■ センサーが指紋の登録または認証を繰り返し失敗する。

センサーの表面が汚れていたり濡れている場合、表面を乾いた柔らかい糸くずの出ない布でふいてください。詳細は、26 ページの「指紋センサーの保守」を参照してください。

■□ その他の問題

■ コンピュータが応答しない。

- コンピュータをオフにするには、電源ボタンを 8 秒以上押し続けます。コンピュータがそれでも応答しない場合、AC 電源アダプターを抜きます。
- 通信中にスリープ・モードに入った場合、コンピュータがロックされることがあります。ネットワークで作業を行う場合は、スリープ・タイマーをオフにしてください。
 - ー スリープ・タイマーを無効にするには、「スタート」>「設定」>「システム」>「電源とスリープ」をクリックし、「スリープ」の下で、「しない」をプルダウン・メニューから選択します。

■ 接続されている外付けデバイスが動作しない。

- コンピュータの電源がオンの時は、USB 以外の外付けデバイスのケーブルを接続または切断しないでください。これを守らないと、コンピュータが損傷する場合があります。
- 外付け USB 光学ディスク・ドライブなどの電力消費が高い外付けデバイスを使用する場合は、外付けデバイス用の電源アダプターを使用してください。これを守らないと、デバイスが認識されなかったり、システムがシャットダウンする場合があります。

ページは意図的に空欄にしています。

商標

LENOVO 及び LENOVO ロゴは Lenovo の商標です。Microsoft 及び Windows は Microsoft の商標です。USB Type-C 及び USB-C は USB Implementers Forum の商標です。Thunderbolt は米国および他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。DisplayPort は Video Electronics Standards Association の商標です。Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の商標です。すべての他の商標は、それぞれの所有者の財産です。© 2018 Lenovo。

